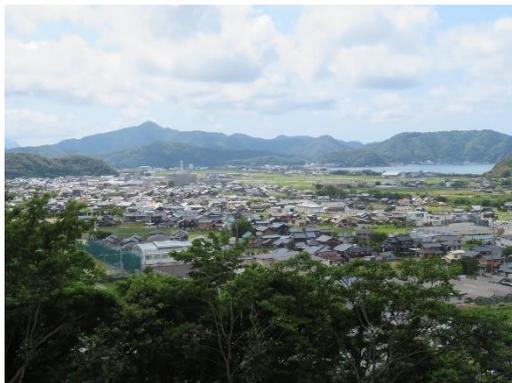


# 耳公民館だより

第58号 令和6年6月



(小倉山山頂からのながめ)

山の緑が濃くなり、鳥たちが巣作りに励む季節になっています。森を拠点とするもの、人里を利用するもの、水上や崖などに巣を設けるものなど様々ですが、与えられた環境の中ではるか昔から命をつないできたわけです。車道が整備された小倉山からは、久々子海岸や梅丈岳まで見渡せます。この山頂で運動会をしていた写真が耳公民館に展示してありますが、そのころに比べると人のねぐらは増えたかもしれませんが、鳥たちはどうなのでしょうね。

## にじみの芸術 インクの花



「立ち寄り型」第1弾です。お試しがてら5月25日に親子講座で実施しました。お一人でも、子供どうしても体験できますが、対応できない日もありますので、希望日の3日前までに公民館へご連絡ください。準備物なし、参加無料です。

じわじわと、思いがけない作品になっていきます。

## 木の枝ボールペン 講座

7月13日(土)

午前 10:00~11:30

耳公民館研修室

参加費：100円

申し込み：耳公民館まで

〆切：7月9日(火)



枝のどこを使うか、まっすぐもあり、曲がったのも味がありあなたなりのデザインで

## 弥美神社 茅の輪づくり

6月29日(土)午前8時～

どなたでも見学や参加ができます。  
耳地区の伝統文化、あなたも体験  
してみませんか。

※実際に茅の輪をくぐる行事は

「夏越の大祓」6月30日(日)午後3時～

(開始時刻までに受付をすませてください)



## 中央小児童 写生画作品展

公民館ろうかで41点の写生画を展示  
しています。子供たちの目線で描いた  
力作をご覧ください、ほのぼのとした  
ひとときをお過ごしください。

写生場所は、消防署、早瀬漁港、  
レークセンター、龍源院(寄戸)です。



### 館長のつづやき

#### 資源

今回の記事は、紙も含めて木や草にかかわるものが多くありませんでしたが、木といえれば先ごろの「木造の人工衛星」というニュースには驚かされました。宇宙のような厳しい環境に耐える素材は、現実の話ではありませんがマジメに宇宙戦艦ヤマトの「超合金」を思いうかべます。

実際の宇宙ロケットは軽くて強いアルミニウム合金が使われていることです。大気圏に再突入する時には燃え尽きてもらうことも必要で、そこも当然考えてあります。ところが、大気にわずかにアルミが残るのは仕方ないとされていたのが、宇宙開発が盛んになった近年ではそれも捨て置けない課題になってきました。

そこで木造の発想です。木はもちろん燃えて自然界へもどりますが、それだけではなく電波を通すのでアンテナを外へ出さずに内部に格納できること、引っ張りにも圧縮にも鉄の数倍の強さがあること、水や空気のない宇宙では腐らない錆びないなど優れた素材です。加えて日本古来の釘も接着剤も使わない「仕口」という木工技術でさらに強固になります。

木の優れた性質の再発見。なくなる宿命の鉱物資源とちがって「育てる」こともできるので「宇宙林業」という夢のある未来に向けての研究が始まっているようです。

公民館の認知度を高めるために通信や印刷を駆使するのも今風ですが、皆さんの「くちこみ」という昔からある伝達方法は強力で無限の資源といえます。ロコミで育てていただけるよう知恵をしばりたいと思います。